

次期 SIP「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」に係る

検討タスクフォース（第1回） 議事要旨

1. 日時 令和4年6月14日（火）10:00～11:00
2. 場所 量子科学技術研究開発機構 東京事務所第一会議室 及び Web 会議システム
3. 出席者
 - (1) 座長、プログラムディレクター（PD）候補
寒川 哲臣 日本電信電話株式会社 先端技術総合研究所 所長
 - (2) 有識者
馬場 嘉信 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門
量子生命科学研究所 所長
根来 誠 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門
量子生命科学研究所 量子超偏極 MRI 研究チーム チームリーダー
福田 大治 産業技術総合研究所 物理計測標準研究部門 首席研究員
 - (3) 関係省庁
総務省 国際戦略局技術政策課 研究推進室 課長補佐
文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課 量子研究推進室 室長
経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 研究開発調整官
 - (4) 研究推進法人
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 経営企画部 次長
 - (5) 事務局
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 審議官
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官（SIP 総括）
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官（量子・マテリアル担当）
4. 議題
 - (1) 量子計測・センシング等について

5. 配布資料

資料1 馬場所長資料

資料2 根来チームリーダー資料

資料3 福田首席研究員資料

資料4 これまでの経緯と今後の予定

参考資料1 次期 SIP 課題候補検討タスクフォースの設置について

参考資料2 次期 SIP 課題候補検討タスクフォース構成員

6. 議事要旨

(1) 量子計測・センシング等について

馬場所長が資料1を用いて、Q-LEAP Flagship プロジェクト「量子計測・センシング「量子生命技術の創製と医学・生命科学の革新」の全体概要と RFI についての説明を行った。

根来チームリーダーが資料2を用いて、量子技術を用いた超高感度 MRI/NMR についての説明を行った。

福田首席研究員が資料3を用いて、超伝導量子計測技術による次世代バイオイメーjing についての説明を行った。

以上